

三平の

やぶにらみ見聞録

〈その12〉

小関三平

(神戸女学院大学教授)



カメラ／池田年夫

# 「住吉川」の冬の陣

——「六甲アイランド線」と神戸つ子

大阪の郊外に生れ、京都で学び、大阪と京都で働いたあげく、私は、余生（？）を神戸で過ごすことになった。

理由はいろいろあるが、なによりまず、神戸は、大都市として珍らしくステキな「自然」に恵まれ、その風土が、ステキな「気質」を産み出しているからである。

神戸の女性にしても、まったくスバラシい。そして、そのスバラシさは、山と海をバックにすればこそ、いつ

そう引き立つのである。横浜はよく知らないが、丘はあっても山はない。

だが、「川」となると、話は別である。世界の有名都市の多くは、大きな河川のほとりに発達した。けれども、

わが神戸では、かならずしも、「川」のイメージが結びつかない。私たちは、セーヌもテームズも、ネバもブルタバも、いや、隅田川・淀川さえも持たない。

ところが、ここに、矢継早に「都市計画」を打ち出す神戸市に対して、「川の景観保存」を訴える運動体が現われた。御存じの『住吉川の環境を守る会』である。

直接のきっかけは、六四年開業予定の「新交通六甲アーランド線」の高架方式であり、この「守る会」は、それが単に住吉川周辺の景観を損なうのみならず、「環境保全」の精神に背き、しかも、住民の合意と「アクセスメント」を不正に軽視してると、きびしく批判しているのである。

これは、従来「行政主導型」でさまざまなプランを押し進めてきた神戸市が、初めて惹き起した、重大な意義申し立てであり、その質的な重さは、生つ粹の神戸つ子たる多くの学者たちが中心となり、しかも、神戸を愛する海外の著名なジャーナリストたちの関心を集めた——ということもある。

というのも、「エコロジー」に発したこの住民運動が、神戸をこよなく愛した、日本を代表する文豪の一人・谷崎潤一郎の旧邸をめぐる「文化財保護」という問題と、



谷崎が一時住んだ倚松庵

重なり合っているからである。

問題提起は、「ドイツ伝承歌謡文学」を専攻する大阪工業大学助教授・中田作成氏によって、口火をつけられた。氏は、灘の浜辺で育ち、今は、谷崎がこよなく愛した住吉川のほとりのマンションに住んでおり、神戸の自然が破壊される過程を、身をもって目撃し体験してきた。「海だけでなく、どうどう川までも……」と、中田さんは絶句する。

彼は、新交通六甲アイランド高架線の計画を知つて、付近のマンション居住者を中心として住民約三百人と共に起ち上がつた。昨年の三月のことである。今や、同士は、その四倍一千二百人を数え、会報発行部数は千五百にもなる。

中田さんは、いかにも地味なテーマとコツコツ取り組



川沿いのこのどかな自然な風景の中にモノレールが通る



市への陳情をはじめ、反対運動の中心 中田作成さん

この慎重・綿密な学究を先頭とする住民運動の歩みは、昭和五九年一二月二〇日に始まる略年表に要約されるが、その間の陳情・抗議・会談は、なんと五十回に近い。にもかかわらず、市と市議会の対応は、これまでのところ、いかにも冷やかにみえる。それなりの配慮と計画細部の修正の努力は、たしかにみとめられるが、結論は、「地元住民無視」に、ほぼ等しい。住民の合意なしに決めた「タイム・リミット」を押しつけるのである。

『住吉川の環境を守る会』に、素早く呼応した、もう一つのグループがあった。それは「住吉川の桜を愛する会」である。「守る会」のリーダーがドイツ文学者（考古学者）である。彼女は、文字通りの「魚崎っ子」であり、したがって、幼ない頃から馴染んできた住吉川の

む、篤実な学究と  
いう印象の人であ  
る。彼が私たち取  
材班三人にそれぞれ  
下さった資料  
は、一八点・八二  
頁の龐大なもので  
あり、そこには、  
新聞記事と市議会  
・市長からの回答  
書も含まれるが、  
コピーをつくるだ  
けでも大変だった  
ろう。いや、中田

さんと奥さんは、このためにワープロ機器まで買い入  
れ、神戸の自然を愛する一念から、研究と私生活を敢え  
て犠牲にしてきた。

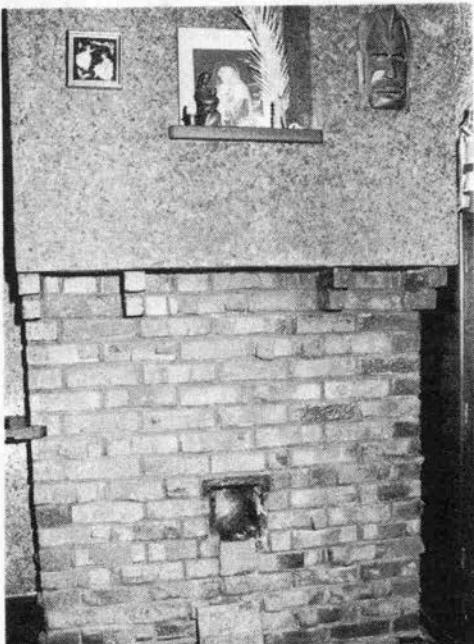
この慎重・綿密な学究を先頭とする住民運動の歩み  
は、昭和五九年一二月二〇日に始まる略年表に要約され  
るが、その間の陳情・抗議・会談は、なんと五十回に近  
い。にもかかわらず、市と市議会の対応は、これまでの  
ところ、いかにも冷やかにみえる。それなりの配慮と  
計画細部の修正の努力は、たしかにみとめられるが、結  
論は、「地元住民無視」に、ほぼ等しい。住民の合意な  
しに決めた「タイム・リミット」を押しつけるのである。

景観が、橋桁十メートルもの高架鉄道によって破壊されることに、中田さんたち以上の悲しみと怒りを、感じたちがいない。しかも、古代ローマ以来の「歴史遺産」を誇りとするイタリアの、それも、もっとも複雑な文化史と野性的な風土を持つ「シチリア」に、詳しいからである。

彼女は、およそ欧米では考えられもしない、文豪の旧寓居を平気で破壊する故郷・神戸市の暴挙と、欧・日の文化のギャップを受け、深く悲しみ、怒ったことだろう。武谷さんは、イタリアの文化人たちに何通もの手紙を書き、「ジャパン・タイムズ」に投稿し、海外八カ国の親日家に訴えた。すると、たちまち、「住吉川と文化財を守る」ことへの共感が、二二七名もの外国人から、寄せられたのである。

ドナルド・キーン氏は、達者な日本語でこう書いてきた。「奇蹟的に残った文化財を破壊することは許したがない行為だと存じます。」ハーバード大学のライシャワー博士・イタリア文化省で遺跡保存を担当した元高級官僚からも、続々と便りが寄せられた。

海外の文化人の反対署名を集める武谷なおみさん（上）  
谷崎が使っていた暖炉（下）

注目すべきは、イタリアを代表する大新聞「ラ・スタンバ」が、八月一七日付の第一面・左下に、「モノレール、日本の偉大な作家の寓居跡を走る——死に頻する谷崎邸」と題する数十行の記事を、掲載したことである。『国際都市』神戸は、かくして、皮肉にも、みずからが育くんだ国際通のアピールによつて国際的な非難を招くことになった。いずれにせよ、「新交通六甲アライアンス線」と「住吉川」は今や、思いもかけず、世界の注目を浴びているのである！

「原則として神戸市在住の文化人」を対象とした、中田さんらのアンケート集計によると、発送数三四〇に対し回答は八二（二四・一%）だが、「六甲アイランド線」への反対が五五%にものぼり、賛成はわずか五%，

が、それにもまして、武谷さんを感じさせたのは、シチリアの高校生たち（一学級）からのメッセージである。彼らは、日本の「科学技術の優位」に敬意を表した上で、「しかし、風景の美や歴史の遺産を消すようなことがあつてはならないし、思い出を壊すべきではありません」と、「神戸市株式会社」のエコノミック・アニマルぶりに、鋭い警告を発しているのである。





谷崎が使っていたそのままの応接室（左）松子夫人の姉朝子さんからの礼状（中）倚松庵を守る児山悠輔氏

条件つきの賛成さえ一八%にすぎない。しかも、この圧倒的な批判は、谷崎潤一郎の旧寓居が取り壊されると知れば、さらに倍して拡がるだろう。

谷崎は、川端康成・三島由起夫よりもはるかに、近代日本文学の耽美派を代表するにふさわしいし、同時に、「阪神間」と神戸を彼ほど愛した大作家は居ない。当然のことながら、日本全国の文学爱好者、とりわけ国文学者のあいだでは、神戸市の「文化行政」への疑惑が、急速に広まりつつある。

だが、もっと重大なのは、引っ越しまニアの谷崎が、七年（昭和一一～一八年）ものあいだ最愛の松子夫人と住み、「源氏物語」の名訳と代表作「細雪」を執筆した、名跡「倚松庵」と、その周辺に、「立ち退き」を迫られた何百人の住民が、現に生活しているという、抜き差しならない日常的現実なのである。

ここで、クローズ・アップされるのが、「倚松庵」の所有者にして住人たる児山悠輔氏である。うつそうたる樹木に包まれたこの木造家屋は、氏の尊父・破魔吾氏（元大阪証券取引所理事長）が、谷崎の家主・後藤耕雄氏から買い取ったもので、悠輔氏一家はここに、何十年も暮してきたのだった。この経緯と家屋の構造については、市居義彬氏の「谷崎潤一郎の阪神時代」（隆文社・昭和五八年）や、たつみ都志女史の「ここですやろ、谷崎はん」（広論社・昭和六〇年）に、詳述されている。

だれだって、突然、「お宅の門と応接間の半分は道路と高架になります」と宣告されたら、当惑し、激怒するだろう。

児山氏は、灘中から慶應大学へと進み、日立製作所の長老となつた、温厚・端正な老紳士である。が、いかにも神戸育ちと見える。この老紳士は、「私はここを動きません。神戸市の態度は許せません」と、物静かに、しかも断乎として、一歩もゆずらぬ構えである。

高級住宅地のインテリ層と市政の対決——市が強行策を取れば、市史に汚点を残すことは、まず避けられまい。

## ■第10回 神戸文学賞受賞作

連載小説△4▽

# わざと 海賊

塚田照夫 絵／辻 司

それから、リブキを壁の破目板にウンと斜にして立てかけ、金櫃の瓶包みを戴せて縄掛けした。  
(さて)と両手を揉んで払った。骨の芯が少し痛んだ。

気がついて鶴小屋の戸を開け、小屋の屋根板の上の餌箱を箱ごと押し入れ、戸は開け放しにして鶴たちがいつでも外へ出られるようにした。

家の内へはいると、一息眠ろうと思い、納戸の中の薄い掛け蒲団一枚だけ取りだして被り、畳の上にジカに横になった。

明朝は早発ちのつもりでいる。さわの寝ているところへ行く氣である。

坊上の棚には、岩吉の骨壺のはいった白木の箱が、ムキ出しのまま荷物のよう置いてある。それが暗闇のなかに、仄白く浮かんで見える。遺牌はない。したがって戒名もない。

頭上の棚には、岩吉の骨壺のはいった白木の箱が、ムキ出しのまま荷物のよう置いてある。それが暗闇のなかに、仄白く浮かんで見える。遺牌はない。したがって戒名もない。

坊次は、岩吉が言っていた『南無阿弥陀仏』をなんとか言つた。

(坊つさまでん、戒名でん、墓でん、なんでんでぐるとばつてんな。銭はいっぱいあるとじやけん。ばつてん、遣われんもんなア。まだ遣わるつ身分になつとらんもん(なあ))

六字の唱名の意味はわからなかつたが、岩吉の言つた言葉は、坊次の胸にしつかりと残つていた。

「おどんたちのごたる者」で、極楽に連れていてくれ

らすちゅうど」

それは、父の遺言のようであつた。

眠くなつてきた。坊次の股倉は、汐水でまだ濡れてい

た。

——少し寝過ぎたと思った。なるべく人に遇いたく

なかつた。

そつと、だが素速く鶴小屋の下の金櫃を掘り出した。

蓋を開けて足もとの銀塊の包みを中に入れ、鶴糞のコビリついた蓮に押しこんで丸めた。

リブキを負って戸外に出た。向かいのヨシの家は、まだ雨戸を縛ってなかつた。その隣りは雨戸があいて腰障子になつてゐる。風雨の強い、土地の造りである。

その腰障子が開いた。お主婦のシノが水汲みらしく手桶をさげて出でてきた。

「おっ、みやげの多かの、浜次どん」

シノは、浜次のリブキの荷を見て言つた。

「喰いもんたい。いつとき向こうに居るテ思うとるけん」「早う帰つて来なんせよ。おさわどんによろしゅうな」「ああ、挨拶せんで行くばつてん、みんなにもよろしゅうにな」

「よかよか、氣イつけでな」

「ああ」

これで部落者への挨拶はすんだたい、と浜次は思つた。

「重かごたるの」と、シノが言つた。

「なアんの」

浜次は、荷を揺すりあげて、しつかりと歩いていった。

じつは喰い物は、麦七分に粟三分の残り飯を、赤子の頭ほどに握つて、高菜の漬物で巻いのを一つ、包んで腰にブラ下げているだけである。ほかには何も喰う物は家に残つていなかつた。

「よかたい。なんとかなる」

浜次はひとりで言い、足を早めた。とにかく、さわが待つてゐる。寂しく暗い山中の朽ち葉の床で、ひとりで待つてゐる。

例の獣道のようないき道である。土の部分も苦や下草に覆われていて、叢の中の一筋の窪みが、わずかに径と知れただけである。

浜次は、咽喉をゼイゼイいわせて喘ぎながら登つた。

どこかで生爪でも剥がしたのか、左足の二の指先に血が滲んでいた。

この径をさわは逃げ、岩吉は追つた。さわは、貧乏から、頑固で気のまわる義父から、そして最後には、どう

した経緯からかさわは知らなかつたが、禁を犯して大枚の銀を隠し、そのことを嫁の自分に知られるのを警戒していた義父と夫の怖ろしいやり口から逃げた。「三年奉公」の責め苦が、往く先に待つてゐるのがわかつていて、逃げた。

（バカン、ことばして）

そう思いながら、浜次はさわが可哀そうでならない。義父岩吉はそのうえ狂つてさえいたのだ。怖ろしくて、さわには耐えられなかつただろう。非道な欲にかられて身を狂わせた父もまたあわれだと思う。岩吉とさわ二人の哀れを身一つに集めて、これから苦しまなければならぬ自分のことは、浜次は考へない。

さわの枯れ葉の床は、野犬に喰いあらされてもいなかつた。野犬も、もつと里近いところにいて、峠に近いこの辺にはいないのかも知れなかつた。

「可哀そくな、ひとりで寂しかつたろう？ 山ン中やもんな」

浜次は、背なの荷を、さわの枕もとにおろした。

「寒うはなかつたな、さわ。今夜は、おどんもここに寝るけんな。なに、飯は持つて来るとるけん。さわも喰うな？ 腹も減つとろけんな。半分コロして喰うたい。太か握り飯やぞ。さわの作つてくれよつたとより、倍も三倍も太かぞ」

藪の道の天井は、いくらか梢の重なりが疎で、光る空も覗けたし、少しは朝陽もこぼれてきたが、径から少し外れただけなのに、ここは、まるで薄闇のなかだつた。

木洟れ日も降つてこない。かわりに、山蛭がボタボタ落ちてきた。浜次は、土ごと枯れ葉をつかんで、それで首筋や脇ら脛の蛭を押しつけてむしり取り、なん匹も捨てた。蛭をむしり取つたあとには血が吹き出た。

浜次は、さわの顔の上の朽ち葉を払いのけた。蒼勁いさわの顔があらわれた。その顔を浜次はそつと撫でた。さわの頬の皮膚が剥げて、ベトツと指先に貼りついた。浜次は、どこからくるともわからない仄明かりに、その

指をかざして見た。

「ああ、さわも、もう帰るとたいな。帰ってだんだん土になるとたいな。しかたなかもんな」

浜次は、べつつく指先を、胸のあたりで押し拭つた。

「よかたい。土になれ。そして、赤か椿花になれ。さわの上に、赤か椿花のいっぱい散つて綺麗かぞ。寂しゆうもなかぞ。美しかろな。そんときア、おどんも見にくるけんな。さわン椿に会いにくるけんな」

浜次は、さわのムキ出になつた顔を埋めもどした。

「あしたは『倭寇ン城』に往てな、こん唐人どんの金箱ば隠そ思うどる。罪つくりの金箱じやけんな、だア

れにも気づかれんところに隠そ思うどる。どこに隠したか、さわにアこそつと教ゆるけんな。さわも、そこに連れていくたい。あしたシうちに連れにくるたい。今夜も、そしてシ先も、そしたら、ずうっとさわといつしょに暮らさるつた。そげんしゆうで、な」

浜次の言うことは、前後平仄が合つてない。が、そんなことは、いまの浜次にはかかわりのないことだった。

浜次の心は静かで、安らぎに充ちていた。さわの屍体の腐臭さえ気にならなかつた。

この日ごろにないことだった。浜次は満ちたりで倦せだつた。子供に添い寝する母親のように、さわの体のなりに横になつて、その朽ち葉の蒲団を、上から、寝かしつけるようにそつと叩きつづけた。

森の木の下谷は、ゆつくりした登りになつてゐる。あついくにつれて、頭上で昆虫の肢脈のように縦横に枝葉を張つた両側の樹々のあいだが、少しづつまばらになつて、明かるさを増した。

とつぜん、左手の樹林が視界から沈み、眼路いつぱいに海が開いた。

浜次は、いつとき眼を細めた。風が汐の香をはこんでくる。二、三ど深い息を吸つた。

陽は、すっかり東の水平線をはなれて、天も地も海も、すきまもなく光を浴びて静まつてゐる。

右手はあいもかわらぬ原生林の波で、しだいにむこう

がわへ、さわの郷里の下山の方へ、ひろがり落ちている。

山崎道は、その密林のへりに沿つてくだり、すぐ眼のまえの番所山の裾で、ふたたび厚い森のなかへはいつて降りていく。

浜次は、いつとき立ちどまつて、見えるかぎりの風光に睡をそそいだ。金櫃を積んだリブキの肩当てが、軸を押しつぶしそうだ。荷を揺すつて、肩当ての部分を、すこしずらした。

その浜次の足許から、山崎道とふた股になつて、ガレ場のなかを、左の眼の下の、起状と凹凸のはげしい岩山の方へ降りている小径がある。

浜次は、その小径のゆくえを睡でたどつた。海から遠眼に眺めたことはあるが、むろん来たことはない。ここが目的の『倭寇ン城』の降り口だと、すぐにわかつた。

「ここかア」

浜次に多少の感動がある。これからどうなるか、そんなことは知つちやいない。たださわに、ここへ連れてくると約束したのを憶えていた。

浜次の眼下は、山崎の突端が陥没して岩盤がムキだしなつたものか、それとも、太古からの熔岩流が風浪に侵蝕されてできたものか、突兀とした大小の岩山のつらなりであつた。幅こそ狭いが、奥へは何千坪あろうか、浜次には見当もつかなかつた。

海から眺めたときには、ところどころに節理のある屏風岩が切り立つていて、岩裾には、狭い砂州や八幡瀬のつづきの岩礁がつづいていた。

浜次は、岩の道を降りはじめた。べつに不安は感じな

道と言えるほどのものではない。通れる、だけだ。よろけては、なんども手近な岩根につかりながら、逼うようにして降りた。負つたりブキの重さが倍になつた。

フト気がついて、見ると、足場には自然のままでない、人手の加わった個所があちこち眼についた。

「へえ、やっぱりか」

浜次は感心した。

このへんの漁師たちは、沖の夜釣りのときに、倭寇ン城に灯りがチラチラすることがあるのを、たいてい見ている。

「久しぶりに今夜は海賊の来とるど」

漁師たちは、そう囁き合って、いつもより静かに仕事

をした。

浜次にも一度経験がある。倭寇ン城は、まるきり人跡を絶えているのではなかつた。

行くにつれて、通路は、いくつにも分かれるようになつた。

浜次は、知つてゐるわけではないので、つど勝手な方向をえらんですんだ。とにかく、リブキの荷をおろさなければならぬ。せつたいに大丈夫な金箱の隠し場所をさがし出さなければならない。たまにでも、人の出入りはあるのだから、なおさら秘密をしまうことはできるところを見つけなければならぬ。先のことは、それから考えることにしている。

ときどき、岩の壁のあいだから海が見えた。眼ふさぎになつてゐる岩壁の縫<じま>には、あきらかに人が抉りぬいたと知れる覗き穴があつた。遠見につかつたのだろう。倭寇ン城は、小さな城塞になつていた。

浜次は、また感心した。元気が出てきた。唐人の金箱を守つて、倭寇ン城にとじこもる気分になつた。

島びとは、昔からの言い伝えで、いまの領主五島氏の祖先・宇久氏のころに、倭寇ン城にたてこもつた海賊の群れを攻めて、なんどもいくさがあつたと聞いている。むろん、浜次も、そうだ。

この宇久氏というのは、肥前松浦黨のわかれで、もともと海賊集団だつたから、その後も、部下三千と言われた倭寇の棟領・五峰王直と宜しみを通じていた。だから、言い伝えが事実だとしたら、この倭寇ン城にたてこもつた海賊は、王直の命令にしたがわないはず、海賊だつたのだろう。王直の頼みで、宇久氏が代理戦争をしかけたの



だろうか。中国は明の時代のことだったという。浜次などの知らないところのことだ。

岩底の下に、洞窟があつたり、踊り場みたいなところがあつたりした。どこからでも、どつちへでも行けるようになっているらしかった。どこかに、海への出入り口もあるにちがいなかつた。

いたるところに、煮炊きや、焚き火の跡があり、人の気配の残つた何かの屑や、かけらがあつた。どれも、近ごろのものであつた。みんな金箱の隠し場所には適当ないとい浜次は思つた。どこも、人臭いのである。

奥へ、すんだ。ほとんど、番所山のまゝ下へ來た。番所山は、倭寇の棟領王直とは別に関係はない。すうとあと、海外との交易が制限されてから、見張り番所が置かれた山だ。

浜次が岩のすきまから窺いてみると、番所山は額のうえにあつた。山の番所は今は無人で、外国船の出入りのときだけ、番士が、富江から下山へ船で渡り、そこから登り降りする。

昔は、この番所山が、倭寇ノ城の見張りを兼ねていたか知れぬという想いなしは、いまもある。それで、焚き火のあとなど、外から、もちろん番所山からも、見えにくい岩底の奥や洞の中にしかない。岩天井のない場所では火を焚いてない。言い伝えは、すなおに、そして周到に、うけつがれているのである。

「こら危かばい」

浜次は、いよいよ困つた。腹も減つてきた。麦と粟の大好きな握り飯は、もうない。浜次の眼の高さの岩壁から、清水が湧き出していた。その溜め壺が、蹲踞ふうに人力で掘り窪めてある。

そこから溢れた水は、合つたり別れたりして、筋を引きたながらチロチロ流れていく。水は、これもひと眼で人ひと知れる岩の段だんに沿つて落ちていた。いずれ段だんは、岩狹を抜けて、海辺へ抜けているのだろう。

浜次の立つているところは、和寇ノ城の通行の要路で、

水場で、おまけに番所のまゝ下にあたつているのだ。  
「こら、いよいよいかんぞ」

浜次は、途方に暮れた。リブキの重みが、肩の肉を喰い破りそうだ。

（いそいで錢ば隱して、さわばつれにいかんば。さびしがつとろけんな）

浜次は、清水を掬つて飲み、よくわからないが、もと来たと思える方へ引きかえしはじめた。

また岩天井が切れたり、つづいたりした。光と陰の斑を、いままでもなんとか出たりはいつたりしたはずなのに、気にならなかつた。それが、いまは、輝いた日の光は瞳に突き刺さるようだつた。浜次は、夜行性の動物に似てきた。

「だれじやい。だれか居るのかの？」

ちょうど浜次が、洞になつたところを、手さぐりして行くときだつた。声が、天井から壁から、寺の梵鐘を撞いたようにこだまして、いつとき余韻が和寇ノ城じゆうに鳴り響いた。

浜次は、ギョツとなつて立ちすくんだ。

「海賊ばい、こらア」

もうダメだと思った。ついさつき、少し気分が昂揚して、唐人の金箱を守つて、ここに立て籠もる元気が出たのが、いちどに萎えた。

（さわよ、もう迎えにいかれんごとなつたばい）

腰の力が抜けた。脚を踏んぱり、リブキを岩壁にもたせて、やっとズリ落ちそうになるのをこらえた。フト見ると、小暗い洞の岩の裂けめが、縦に黒い口を開けて、灰色の世界の黒い縞になつてゐるのが、すぐ脇に見えた。

裂けた岩の底がどうなつてゐるのか、深いのか、それとも浅いのか、リブキの蓮包みの荷を、じゅうぶんに隠せるものかどうか、見当はつかなかつた。が、グズグズしている場合ではなかつた。

とつさに浜次は、リブキの肩掛けを右肩から左肩へ順

に外し、背中をのけぞらせて荷包みを岩壁に押しつけて

ズラしながら、リブキの荷をおろした。リブキは、岩にたてかけた具合になった。浜次は、それを横倒しに寝かせ、こんどは、リブキの二本の足をもちあげて逆さにし、黒い縦穴の中へ倒しこんだ。

浜次にしては、素早い行動だったし、うまい着想だつた。

リブキの落ちる重い響きが、すぐはねかえってきたから、穴はさして深くはないのがわかった。引きあげるときのことを考えて、浜次は安心した。肚をきめてふりかえった。

なんと、眼と鼻の先に、僧形の大入道——と、浜次には見えた——がヌーと立っていた。

## 八

大人道の海賊では、かないっこない。

浜次は、いそいでひざまずいて、

「命ばかりはお助けを」

と、両手を合わせた。

頭を丸め、黒い僧衣をまとつた大男は、クスッと笑つた。眉太く、顎骨の張つたいかつい顔が、笑うとひとくお人好しに見えた。手に、飯でも喰つていたのか、茶碗と箸を持つたままだった。浜次には四十がらみに見えた。

「命ばかりは、か。命を助けてもらいたいときには、そういうふうに言うものだと、誰に教わったな?」「ああ?」

浜次には、僧形の男のいう意味がわからない。

「どうせ、相対死に(心中)の片割れか、捕まれば首が飛ぶようなことをやらかして、ここへ逃げ込んだんじやろう。命は惜しいわけだ。それで、お助けを、ときたな。そうだろう」

似たようなもんじやが、すこし違うな、と浜次は思つた。そんなことを考えるだけ、気持ちに余裕がでてきている。

「お上人様」

浜次は気やすく呼んだ。気やすく呼んでよい相手だと判断したし、そうすることで急場がしのげそ�だと、計算している。動物の嗅覚みたいなものがはたらいていた。

「お上人さま。おどんの家内の、こん先ん山中で寝とります。お経ばあげてくださいませ」

立ちながら、雑炊らしいものを啜つていた大坊主は、それを聞くとヒクッと喉を詰まらせて、あわてて呑みこんだ。

「ああ? 寝とる? 寝とる者にお経をか?」「へえ」

「殺したのか」「いえ」

（殺したのは親父じやとは、言われんもんな）

それを言えば、唐人の金箱のことまで説明しなければならなくなる気がした。金箱の秘密は守らなければならない。だいいち、さつき浜次がリブキに積んだ金箱の蓮を、岩穴にほうりこんだときには、この海賊のお上人が、見ていたかどうかさえ心配になつていて。

「ほう、相対死にじやないのか」

僧形の男は、浜次を、相対死に生き残りだと決めていたらしい。

「へえ」と、浜次は混沌とした顔つきになつた。

「女房と相対死にじやおかしいか。しかし、ないわけでもないな」

「へえ」と、浜次は、また言つた。

「だめでつよか、お経は?」

「お経か、困つたな。——実はな、わしは坊主じやないんだ」

と、坊主が言つた。

（そんなら、やっぱり本職の海賊ばい）と、浜次は、また怖ろしくなつた。

# 神戸っ子と出合う時

月刊「神戸  
っ子」は思  
いがけない  
ところで…



小小楠貝柏嘉嘉金鬼小岡牛榎石石乾青朝比奈  
泉磯本原井納納井塚野崎尾並田阪野木本  
徳良憲六健毅正元喜一吉正春信豊重  
一平吉一一六治彦郎夫忠朗一一生一彦雄隆

直外竹津高陳田田田淹淹角砂塩新司佐坂上  
木島馬高橋崎辺宮川川南田路谷馬藤井林  
太健準和舜俊聖虎勝清猛重義英遼時英  
一郎吉助一孟臣作子彦二一夫民孝夫郎廉忠一

神淀行元百村宮宮三松松福西灘成南難中  
戸川吉永崎上地崎木井井富村本瀬部波西  
百年店長哉定辰正裏辰良高一芳唯香主  
会所治女正雄郎二雄一男郎美功人梅三還勝

## ★発行にいろいろお世話をいただいた方々

オリエンタルホテル  
神戸ポートビアホテル  
ニューポートホテル  
三宮タミナルホテル  
ホテル神戸  
神戸ワシントンホテル  
グリーンヒルホテル  
ホテル三宮セントラル  
タワーサイドホテル  
サンサイドホテル  
雅叙園ホテル  
六甲オリエンタルホテル  
六甲山ホテル  
六甲スカイヴィラ  
神戸サンボーテル  
ホテルブルザ(大阪)  
花ホテル  
パレス水上

第一グランドホテル  
シネマガイド  
兵庫県民会館  
神戸市中央市民病院  
そごう神戸店美術画廊  
ギャラリーード・ラ・ベ  
ファミリア北野坂ハウス  
ブティック魔女アトリエよしこ  
テルミニーフィッシュマンズポート  
れんが亭  
トム・キャンティ  
ガストロノミ  
ヤマト化粧品店  
キャナ  
にしむら珈琲各店  
ハイジ屋商店  
ロビンソン  
クラシック  
東京原珈琲店  
サルーテ北野  
東京宝塚劇場宝塚センター  
流泉書房  
ホンジョウ  
サンエー書店  
甲南堂  
甲南ブックス  
御影ブックス  
甲南大学生協  
グリーンブックス  
神戸市灘区  
雄倉書店  
南天莊書店  
啓文館  
ユーカリ南天莊  
ブックスのじぐく  
ブックス六甲  
ブックスアーヴィング  
朝日屋ボーアイ店

大文堂  
ウオザキ書店  
小原光文堂  
本山宝盛館  
北村書店  
キティ  
御影宝盛館  
大文堂  
ウオザキ書店  
小原光文堂  
本山宝盛館  
北村書店  
りいぶる元町  
ホンジョウ  
サンエー書店  
甲南堂  
甲南ブックス  
御影ブックス  
甲南大学生協  
グリーンブックス  
神戸市灘区  
雄倉書店  
南天莊書店  
啓文館  
ユーカリ南天莊  
ブックスのじぐく  
ブックス六甲  
ブックスアーヴィング  
朝日屋ボーアイ店

第一グランドホテル  
シネマガイド  
兵庫県民会館  
神戸市中央市民病院  
そごう神戸店美術画廊  
ギャラリーード・ラ・ベ  
ファミリア北野坂ハウス  
ブティック魔女アトリエよしこ  
テルミニーフィッシュマンズポート  
れんが亭  
トム・キャンティ  
ガストロノミ  
ヤマト化粧品店  
キャナ  
にしむら珈琲各店  
ハイジ屋商店  
ロビンソン  
クラシック  
東京原珈琲店  
サルーテ北野  
東京宝塚劇場宝塚センター  
流泉書房  
ホンジョウ  
サンエー書店  
甲南堂  
甲南ブックス  
御影ブックス  
甲南大学生協  
グリーンブックス  
神戸市灘区  
雄倉書店  
南天莊書店  
啓文館  
ユーカリ南天莊  
ブックスのじぐく  
ブックス六甲  
ブックスアーヴィング  
朝日屋ボーアイ店

第一グランドホテル  
シネマガイド  
兵庫県民会館  
神戸市中央市民病院  
そごう神戸店美術画廊  
ギャラリーード・ラ・ベ  
ファミリア北野坂ハウス  
ブティック魔女アトリエよしこ  
テルミニーフィッシュマンズポート  
れんが亭  
トム・キャンティ  
ガストロノミ  
ヤマト化粧品店  
キャナ  
にしむら珈琲各店  
ハイジ屋商店  
ロビンソン  
クラシック  
東京原珈琲店  
サルーテ北野  
東京宝塚劇場宝塚センター  
流泉書房  
ホンジョウ  
サンエー書店  
甲南堂  
甲南ブックス  
御影ブックス  
甲南大学生協  
グリーンブックス  
神戸市灘区  
雄倉書店  
南天莊書店  
啓文館  
ユーカリ南天莊  
ブックスのじぐく  
ブックス六甲  
ブックスアーヴィング  
朝日屋ボーアイ店

## ●神戸っ子は左記の書店で



三宮ブックス

千種書房  
みどりや書店

芸亭

★神戸市兵庫区

神文館メトロ店

夙川書店

秋田百文館

漢口書店

かもめ書店

華文堂

盛大堂書店

神戸市中央区

日東館長田店

秋田百文館

高田屋書店

合城屋書店

シオサイ

★神戸市兵庫区

神戸市兵庫区

芦屋宝盛館

大利昭文堂

★加古川市

源氏書房須磨寺店

博文堂書店

流泉書房

岡本書房

★神戸市兵庫区

神戸市兵庫区

広文館

漢口堂明舞店

日東館垂水店

吉村書房

洋文館

坪井書店

芦屋宝盛館

大利昭文堂

★加古川市

ブックスアルファ

吉村書房

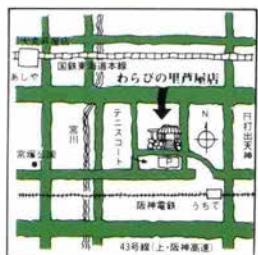
洋文館

坪井書店

芦屋宝盛館

大利昭文堂

晚  
秋  
を  
盛  
る



京懐石 5,000円より  
松花堂 3,500円(午後2時迄)

芦屋店 ■  
芦屋店：打出小堀町30  
（079-723-5666）  
営業時間：午前11時～午後10時（駐車場有り）  
京都本店：京都・山科区小山中島町28  
新宿店：東京・新宿区西新宿2丁目4番1号  
新宿NSビル 1F (03) 349-8789

京懐石  
わらびの里

スポーツ・フィーリングで  
駆け抜けろ!!

TRIM ROLLER  
Rokko



## ローラースケート教室 レディース・ジュニア生徒募集中

〈レディース〉ストレッチ運動付基本コース

- 日時 金曜日  
　　昼の部14:00～15:30  
　　夜の部18:30～20:00

● 費用 ¥3,000 (5回コース)

〈ジュニア〉基本コース、小学生男、女

- 日時 日曜日 9:00～10:00
- 費用 ¥2,500 (5回コース)

※お問い合わせは

六甲体育館 ☎ (078) 841 - 1084まで



日本ローラースケート連盟公認  
*Roller Rokko*  
神戸市灘区新在家北町2丁目1-1 ☎ (078) 841-1088

営業時間 ● AM10:00～PM10:00

貸 靴 料 ● 200円

滑 走 料 ● 一般学生¥1,000 中・高生¥800  
　　　　　　小学生¥600

国鉄六甲道南へ徒歩5分  
国道43号線、小泉製麻北  
●駐車場100台収容



# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

講岐名代うどん あこや亭  
市川店 ☎ 0331-6300 三宮店 ☎ 0332-3003 住吉店 ☎ 0353-3737  
兵庫駅前店 ☎ 0575-5306 ポアーティ店 ☎ 0303-1188  
ポアーティラザ店 ☎ 0303-3232

北海道郷土料理 蝦夷  
中央区中山手通1-4-13 ☎ 0331-7770  
東門筋東門会館ビル1階

和食くれない  
三宮生田新道側中央KCBビル2F ☎ 0331-0494

料亭 布引大しま  
中央区鶴内町4-8-19 ☎ 0221-1945

たこ焼たちばな  
三宮センター街(旧梅筋) ☎ 0331-0572

民芸脚食事処  
炭焼ステーキ  
五事  
元町3丁目山側 ☎ 0391-3156

炭焼やきとりトリドリ  
中央区北長狭通2-5-1 ☎ 0391-3028  
タイシソウセツビル2F

そばばうどん 手打ちそば木曾路  
フライロード市役所前KCBビルB1F ☎ 0331-1295

どじょう吾作  
中央区元町通2-7-20 ☎ 0321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂  
神戸ワシントンホテル2F ☎ 0331-6111

割烹銀座  
神戸ワシントンホテル2F ☎ 0331-6111

手打そば凧つる庵  
市役所花時計北・ハニービルB1 ☎ 0331-0260

季節茶屋一輪一房  
中央区三宮町1-8-1 ☎ 0331-2280  
さんプラザB1F

天ぷら天ふじ  
中央区下山手通2-11-24 ☎ 0392-3630  
大金ビル1F

SAKE & KAISEKI 喜兵衛  
中央区山本通2-1-1 ☎ 0242-5411  
コーナーハウス2階

懷石料理 駒走  
中央区中山手通4-26 ☎ 0222-6022

郷土料理 千石船  
さんちやく ☎ 0391-4875 三宮店 ☎ 0391-9314

活伊勢海老料理 中納言  
神戸ラザホテル店 ☎ 0331-7918 元町東店 ☎ 0392-1685

懷石料理 楽珍  
阪急西口店(阪急三宮)北口レインボーラザ3-4F ☎ 0221-5200  
宴会場/神戸三宮生田筋西ビル3-4F ☎ 0332-1717

懐石料理 青柳  
中央区元町通3-63 ☎ 0331-2292

## ★各国料理

レストランやまと  
中央区生田町1-4-20 ☎ 0242-2020F0

レストラン鹿皮くらかわ  
中央区山手通2-15-8 ☎ 0221-8547-231-3315

ステーキハウス グリル青山  
中央区山手通2-14-5 (トアロード) ☎ 0391-4858

スカンジナビア料理  
世界の民族料理の店  
中央区山本通3-1-2 教導院前 ☎ 0242-0131

ステーキランジ 果林  
神戸ラザホテル2F (元町駅南) ☎ 0331-4558

すでいきハウス 長崎  
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎ 0221-1086

ステーキ 花  
中央区布引町4-2-7 神戸大酒店B1 ☎ 0221-1087

北イタリア料理 ベルゲン  
中央区山本通2-3-2 ☎ 0241-6952

SAPPORO BEER RESTAURANT ニューミュンヘン神戸大使館  
三宮生田ロード ☎ 0391-3656

ステーキハウス 伊藤  
中央区御幸通7-1-20 大倍ビル8F ☎ 0322-3031  
炭焼ステーキ フランス料理 ピストロドウリヨン  
中央区山本通2-13-6 ☎ 0221-2727

レストラン 麻布キヤンティ  
中央区北野町4-1-12 美人館俱楽部 ☎ 0222-5380

ボリネッタ料理 海賊焼 フィッシュヤーマンズポート  
神戸港第4突堤ボーター・ミナル ☎ 0331-0301

シーフードバー ムーニークルーズ  
三宮・生田筋 ☎ 0331-8980

喫茶・レストラン カフェパクリスタ  
三宮・トアロード(パリスピタルB1) ☎ 0391-0061

フランス料理 レストランフック  
中央区元町通3-8-4 ☎ 0331-2108

フランス料理と神戸ビーフ  
フランス風中華料理 モダンラ・ターブル  
中央区栄町通2-9-11 ☎ 0321-3453  
321-3207, 332-4129

フランス料理 フラシニア  
北野異人館通りローズガーデン山側 ☎ 0242-0597

ドイツレストラン ハイデルベルグ  
中央区山本通2-8-15 ☎ 0222-1424  
ローズガーデン2F

ドライワイン・コーヒー  
ブティック ローテ・ローゼ  
中央区北野町4-9-14 ☎ 0222-3200

韓国宮中料理 凤仙  
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスルビル6F ☎ 0391-2147

スペイン料理 エル・ソル  
神戸市役所前・フライロードビル1F 東側 ☎ 0322-3636

シルクロード料理 ぶはら  
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 0331-1734

神戸ビーフ登録指定店  
三田流通振興協議会 中央区中山手通1-24-1 ☎ 0222-0678  
指定店

スコッティ&  
ローストビーフ ガスライト  
神戸ワシントンホテル9F ☎ 0331-6111

フラメンコと  
スペイン料理 エル・パンチョキタノ  
中央区北野町3-2-4 ☎ 0241-1344  
アーノド・マンション1F

中国料理 萬壽殿  
中央区中山手2-20-4 ☎ 0231-4531

フランス料理 ルー・サロメ  
中央区中山手通2-3-7 ☎ 0392-1251  
2F六門亭ビル1F

北イタリア料理 ベルゲン  
中央区山本通2-3-2 ☎ 0241-6952

伊藤  
中央区御幸通7-1-20 大倍ビル8F ☎ 0322-3031  
炭焼ステーキ フランス料理 ピストロドウリヨン  
中央区山本通2-13-6 ☎ 0221-2727

レストラン 麻布キヤンティ  
中央区北野町4-1-12 美人館俱楽部 ☎ 0222-5380

神戸風レストラン 能芭亭  
中央区北野町2丁目1-10 ☎ 0291-0661

フランス料理 シャンテクレール  
三宮ターミナルホテル4F ☎ 0232-1682

フランス狩猟料理 トウルドール  
中央区源渕山公園展望台 ☎ 0241-0168

ステーキ & 神戸館  
中央区下山手通2-2-9 ☎ 0321-2955  
アマソビ1F

広東料理 神戸元町別館牡丹園  
元町通1丁目協和銀行北側小路入る  
0331-5790-6611

レストラン ラ・ターブル  
中央区山本通3丁目3番8号 (パールビルB1) ☎ 0241-3170

海老料理 伊勢工ビ屋  
中央区北野町4-6-8 ☎ 0222-0766

★喫茶  
珈琲館 たちばな  
中央区元町通3-9-2 ☎ 0391-1051

サンドディ カレツツ  
元町一番街 ☎ 0321-1739

カフェドラセール  
新聞会館1F ☎ 0221-8155

サ ガ デ ニ ア  
中央区東町113-1 大神ビルF ☎ 0321-5114

シルクロード料理 ぶはら  
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 0331-1734

和黒くわっこく  
三宮店 ☎ 0222-0678  
ビルサイドテラス1F

スコッティ&  
ローストビーフ ガスライト  
神戸ワシントンホテル9F ☎ 0331-6111

エル・パンチョキタノ  
中央区北野町3-2-4 ☎ 0241-1344  
アーノド・マンション1F

中国料理 萬壽殿  
中央区中山手通1-26-3

三宮店・国鉄三宮駅側  
センター街店・中央区三宮町10-27  
北野店・山本通2-1-20  
(会員制) 3F事務所  
阪急・三宮東口山側

珈琲モーツアルト  
中央区山本通2-6-11  
グランドマッシュン1F

英國屋  
神戸国際会館側 ☎ 0251-4562

葡萄屋  
三宮センター街3丁目 ☎ 0391-9006

仏蘭西屋  
三宮・フライロード(神戸市役所前) ☎ 0232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木  
三宮・フライロード(神戸市役所前) ☎ 0251-3231

ワイン菓子 モーツアルト三宮  
中央区岡上通8-1-29 ☎ 0251-3616  
カサベラビル1F

ワイン菓子 モーツアルト元町  
中央区三宮町3-1-3 ☎ 0332-0886  
神戸丸山向い

茶房ナイル  
中央区下山手通6丁目2-7 ☎ 0241-7376

茶モンブラン  
フライロード市役所前Kビル1F ☎ 0231-3605

コーヒーラウンジ カフェ・ド・パリ  
神戸ワシントンホテル2F ☎ 0331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP フィアミア北野坂ハウス  
中央区北野町2-8 ☎ 0222-3535

純喫茶 元町サンストス  
中央区元町通2-3-12 (元町通1番街側) ☎ 0331-1079

ゴーリーウェンジ City of City  
中央区三宮町3-9-1 ☎ 0331-1117

ティー＆スナック 工ポツク  
中央区元町通3-8-8 (浜側) ☎ 0331-3694

珈琲俱樂部  
神戸市中央区北長狭通1-10-6 (生田筋)  
ムーンライトビル1F ☎ 0332-2016

炭火焼珈琲 萩原珈琲店  
神戸市中央区中山手通2-21-3  
☎ 0222-1457

LE CAFE ガレ  
中央区山本通2-3-14 ☎ 0242-7144

宮水のコーヒー  
三宮店・国鉄三宮駅側  
センター街店・中央区三宮町10-27  
北野店・山本通2-1-20  
(会員制) 3F事務所  
阪急・三宮東口山側

珈琲モーツアルト  
中央区山本通2-6-11  
グランドマッシュン1F

モーツアルト  
中央区北長狭通1-2-6 白蘭ビル3F ☎ 0331-5141

★CLUB

club 飛鳥  
中央区中山手通1-2-6 ☎ 0331-7627

club 小万  
中央区東門筋島ビル3F ☎ 0391-0638-4386

Member's Lounge 異人坂  
中央区北野町2-9-22 (三本松不動北) ☎ 0222-2001

クラブ 千  
中央区下山手通2-12-6 ☎ 0391-1077

club なぎさ  
中央区北長狭通2-11-2 ☎ 0331-8626

クラブ るふらん  
中央区中山手通1-3-1 ☎ 0331-2854

club Moon Light  
三宮・生田筋Club ☎ 0331-0157 / Bar ☎ 0331-9554

club コトブキ  
中央区三宮本通り ☎ 0331-1875

★STAND & SNACK

スナック CÉLINE  
中央区北長狭通2-5-1 タイシソウセツビル5F  
☎ 0332-6020

レストランBAR 薔薇屋  
中央区北長狭通5-5-22 ☎ 0351-4311

サロン アルバトロス  
中央区中山手通1-22-10 ☎ 0231-3300  
大和ナイトプラザ2F

アチシャンソン  
「音楽の家」  
工トワ  
中央区三宮町3-8-12 ☎ 0332-1755  
神戸アロード三宮センター街西入1スカイアービル3F

スナック 雅子  
神戸市中央区北長狭通1-5-9 KCBビル3F ☎ 0332-0051

Theater pub トム・キャンティ  
中央区下山手通2-8-2 ☎ 0331-2122  
神戸ワシントンビル1F

スタンダグラムール  
生田筋ビル地階 ☎ 0331-4637

サロング神戸時代  
中央区中山手通1-23-10 ☎ 0242-3567  
モンシャトウコトブキビル

カクテルラウンジ サヴォイ  
高架山側 テキの店北 ☎ 0331-2615

ミュージック サントノーレ  
トアロード中央区下山手通2-5-6 ☎ 0391-3822  
北野店 中央区下山手通-22-10 大和ナイトプラザ6F  
☎ 0221-3886

スタンド千里  
中央区下山手通2-11-1 ☎ 0331-4730  
K. S. Mビル1F

裏吉洞でつさん  
中央区北長狭通1-5-12 ☎ 0331-6778

STANDマシユケナダ  
中央区山本通1-4-6 ☎ 0331-5587  
ユーベルビル4F

Adult Disco セキーナ  
中央区加納町4丁目7-11 パークビル8F ☎ 0332-0666  
末広光夫の ティファニーナー  
中央区中山手通1-21-13 ☎ 0241-1771

Wine and Something 珍地理屋  
中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ1F

レジャーピル 西村ビル  
中央区北長狭通2-12-10 (生田筋) スーパーステーション  
ランダムハウス5pm 虎連坊 楽珠 エスキヤグラブ

スタンドかてな  
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎ 0331-1316

スナックアダルト  
中央区北長狭通1-20-2 墓碑ビル5F ☎ 0321-5885

CAFE RESTAURANT & BAR MARLENE  
中央区北長狭通1-2-13 ニューリッチビル5F  
☎ 0331-9050

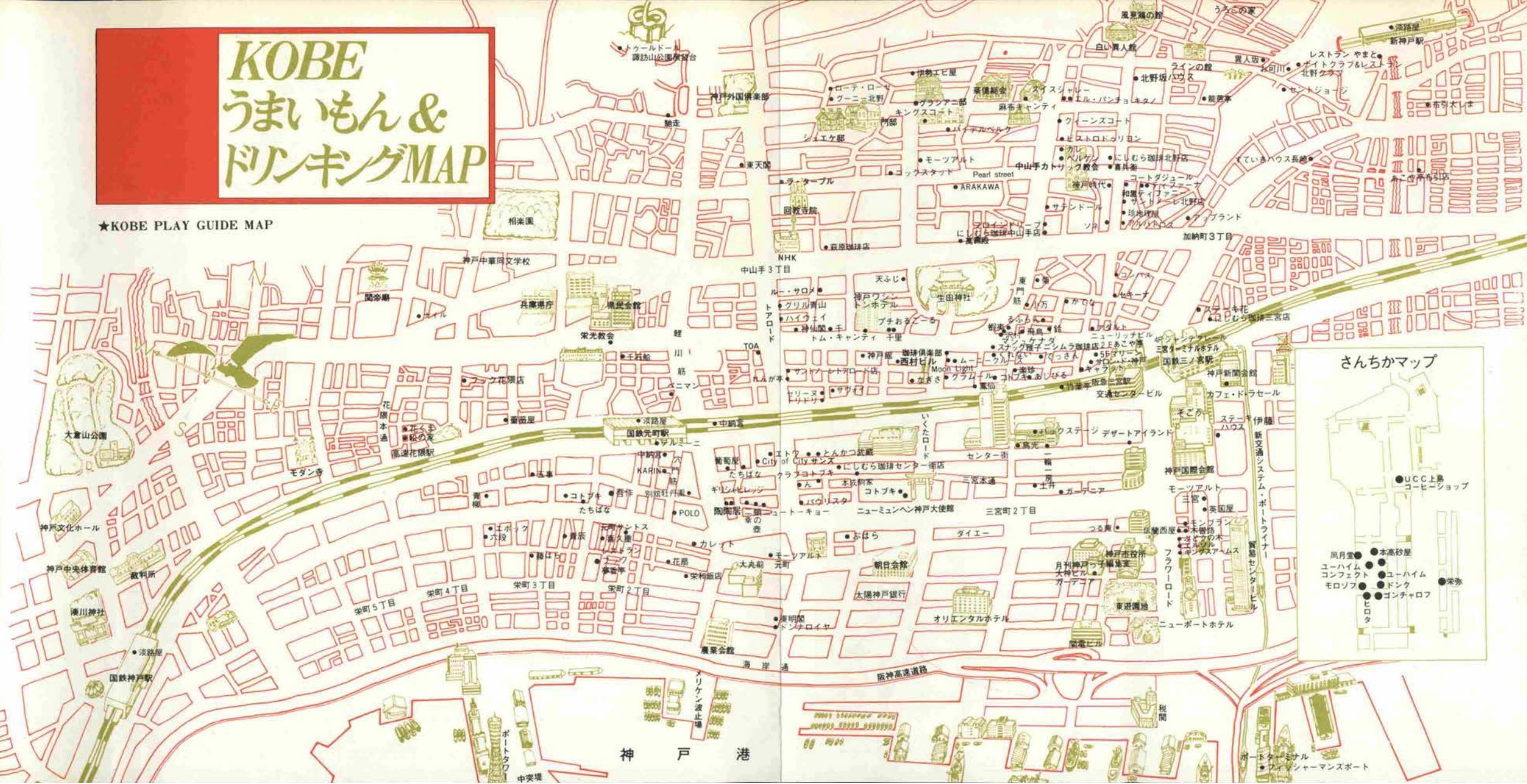
らうんじ沢村  
中央区中山手通1-4-10 平和樓ビル3F  
☎ 0332-2695

PRAIVATE SALOON コートダジュール  
中央区中山手通1-22-113 ヒルサイドテラス4F  
☎ 0221-7222

会員制新サロン サロン・ド・神戸  
中央区北長狭通1-2-13 ニューリッチビル10F  
☎ 0331-1547

# KOBE うまいもん& ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



極めたこの味  
まろやかさ



この冬、真心を込めたご贈答を…



五年間守り育てた極上品  
金盃超特級 秘藏酒  
1.8ℓ ピン詰・木箱入  
[限定品] ¥10,000



左党に贈る小粋なセット  
一級 1.8ℓ 金箔入り 2本  
生酒原酒「ひとり一本」180ml 2本  
金盃セット KA-5 ¥5,000

灘の清酒  
**金盃**

金盃酒造株式会社

本社／神戸市灘区大石東町6丁目3番1号  
TEL 神戸 078-871-5251 (代表)  
東京支店／東京都中央区新川1丁目14番5号  
TEL 東京 03-563-2601 (代表)

二つ茶屋新製品 「神戸っ子」が  
ハイカラ風味をお届けします

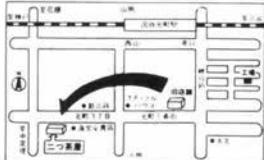


ポテトとパイをミックスさせたハイカラなお菓子。9個入り ¥1,000

港町のケーキグルメにカジュアルスイート！

メロウタイプの自然な甘さが心地よい。パステルな色あいが楽しく、ワイルドなあじわいをパイが引き立てます。

フレッシュバターとスタイルトボテのデュエットは、いま新しいカジュアルスイート。  
港神戸のみなさまにお菓子の二つ茶屋から心をこめてお届けします。



二つ茶屋

本店 中央区元町通3丁目7-9 ☎(331)0755代  
岡本店 東灘区岡本1丁目5-5 ダイソービル内 ☎(452)0570  
工場 中央区三宮町3丁目10 ☎(331)0796

携記念

ニューヨーク 五 番街



今や世界の三宮センター街



とんかつ むら花

本店 / 三宮・センター街 ☎ 321-0634  
11:00AM ~ 7:30PM 水曜休

京町 テート

三宮センター街  
1F ☎ 332-2116 2F・B.F. ☎ 331-4598

 Cascade

本部/神戸市中央区三宮町2丁目センタープラザ西館5F  
☎ (078) 391-1360(代表) 神戸・大阪・西宮・名古屋

ladies watanabe

レディスワタナベ・ヴォイスクラブ  
☎ 078(331) 1650 ☎ 078(331) 4306  
AM 10:30 ~ PM 7:00

marudai

オリジナルボタン/バック/アクセサリー  
本店(三宮センター街)/TEL(391)4146

ナガサワ 文具センター

本店/神戸市中央区三宮町1-4  
TEL 321-4500

 サンノジル

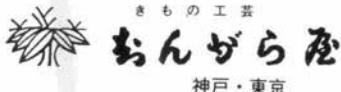
三宮センター街2丁目 ☎ 331-4358

CAFFÉ POLO

センター街ファミリア南東側毛利ビル2F  
TEL/078(331)8118 11:00AM ~ 8:00PM

## 高木スタジオKOBE

三宮センター街西角ファミリアビル5F  
☎ 078(331) 7997



きもの工芸

神戸・東京

本店 / 三宮センター街2丁目 ☎ 078(332) 5298



## 陶芸 古川軒

神戸三宮センター街1丁目 電話(078)331-2813

CAKE  
&  
COFFEE  
**G**線 神戸サブレ  
G-SEN CONFECT CO.,LTD. ■三宮センター街店  
☎ 078(321) 1018



## BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

本部 / 神戸市中央区三宮町1-10-1交通センタービル6F  
☎ 078(332) 3155



## serizawa

KOBE

本社 / 神戸市中央区三宮町1-10-1  
交通センタービル5F  
☎ 078(321) 6868

**K** komatsuya  
コマツヤ KOBE

センター街店 / センター街2丁目 ☎ 078(331) 1833  
さんちか店 • プチセンター店 • サンコウへ店

## 田崎真珠

三 宮 店 / 三宮センター街2丁目 ☎ 391-4085  
田崎マペーパー / 三宮センター街1丁目 ☎ 391-2028



## 宮センター街

## 姉妹提



今夏来神のグロッソ五番街会長（中央）

ロッソNY五番街会長が来  
神、岸野利男三宮センター街会長との間でエールが交換され、11月からこれを  
祝って「ニューヨーク・フェア」が三宮センター街で開かれます。

11月1日(土)に開催されるセレモニーを皮切りに、センター街はニューヨーク一色。11月21日までは、NYのシンボルのマンハッタンとアップルをメインにしたフラッグが、さらにクリスマスが近づくと、トランペット・ペナントやひいらぎが皆様をお待ちしています。

この冬は、文句なしに三宮センター街が面白いのです!!



SHOPPING

## 秋から冬へ

シックでエレガントなK O B Eの街



### 太田、べつ甲店

元町一番街山側

□ 331-16195

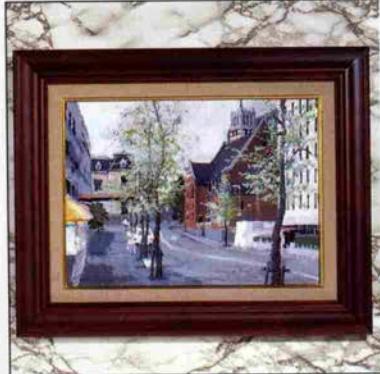
秋たけなわの神戸の街並みにたたずむあなたの胸元に、エキゾチックなブローチを……。

### 末積製額

トアロード・大丸前

□ 331-11309

芸術の秋に相応しい絵と、クラシックな額縁はいかがでしょう。



### Cascade

阪急岡本店

□

411-7116

ずつしりしたライフレッドは翌日の方が味が落ちつきます。ベーコンと野菜を添えて健康的な朝食を。



### クチュールラ・セーヌ

大丸前

□

331-3654

街の噂はモダンファミニーン

洋服店



寒い季節です。この冬は、落ち着いた民芸調の雰囲気のなかで、当店の特選神戸肉の鍋物料理をお楽しみ下さい。

※2名様から30名様までのご予約を承っております。  
※定休日(木曜日)でも貸切りの場合は営業いたします。

# ステーキ房 はつせきや 泊瀬川

神戸市中央区三宮町2丁目9-3  
TEL (078) 332-6516  
11:30AM~3:00PM 5:00PM~9:00PM  
木曜日定休  
姉妹店:喫茶イフ お好み焼き「三好」

## 〈メニュー〉

- 神戸肉しゃぶしゃぶ お1人様 4,000円
- 神戸肉すきやき お1人様 4,000円
- 泊瀬定食 1,800円 (11:30AM~2:00PM)  
〈スープ・サラダ・ステーキ・ライス・コーヒー〉
- ステーキコース 3,500円~8,000円
- ステーキ 4,000円より
- エビフライ定食 3,000円



贈りものに本物を選ぶ。

薰煙に熟成された  
やわらかなハムの旨みが  
熱い鉄板にはじける  
芳ばしい香りがテーブルに漂う

ハムステーキ



厳選された素材と、  
伝統に培われた手造りの技が  
織りなす、  
味わいのシンフォニー。  
本物だけが持つことを許された、  
味わいの深みと風格に、  
贈る人のところが込もる。  
この冬、贈つて、贈られて……  
お付き合いもまろやかに。



 伊藤ハム



牧場から、とびきりクリーミィな新風。  
新発売 ゴンチャロフのチーズチョコレート

全く新しい味覚の誕生。

質の良い新鮮な牛乳から作る、特製のクリームチーズを

チョコレート(3種類)でカバーしました。

クリーミーな美味しさの味わい3つ。

(プレーン・アーモンドペースト・アーモンドロック)

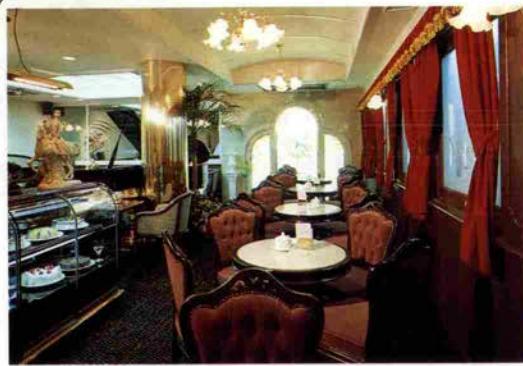
\*よく冷やした辛口の白ワインがおすすめです。  
お試しください。



¥2,000(20個入)

¥500~¥3,000  
までございます。

KOBE  
*Goncharoff*  
ゴンチャロフ



カップを手にするときは、いつも最高でいたい。マイペースタイムをカレットで…。姉妹店「カフェ・ド・ラセール」(新聞会館1F)もご愛顧ください。

サロン ド テイ  
*Carette*

神戸市中央区元町通1丁目元町一番街  
☎ (078) 321-1739



鉄板焼コーナーではしもふりの神戸ビーフを。ワインを飲みながら、ゆっくりと味わってください。

出張パーティも承ります

**RESTAURANT**

**やまと**

新神戸駅前そごうマークのビル2F  
AM11:00～PM 9:00 ☎ 242-2020代)



日本海特産の松葉がにが、11月6日解禁！なくてはならない冬の味覚、生のかにすきを存分にご賞味下さい。

政府登録国際観光旅館

## ホテル全但

〒650 神戸市中央区下山手通4-5-1 [全但会館]  
市営地下鉄山手(県庁前)駅下車東出口2番1分  
電話神戸078(391)3838代)



自然食パーラー「サントマト」は、自然食ファンには見逃がせない魅力です。ベジタリアン¥900

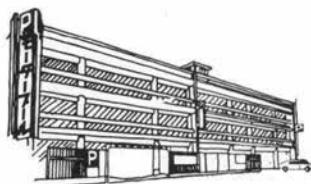


より自然なものとのふれあい  
**Natural House**  
ナチュラルハウス 神戸店

中央区元町通2-7-7  
10:00AM～8:00PM ☎ 392-3661

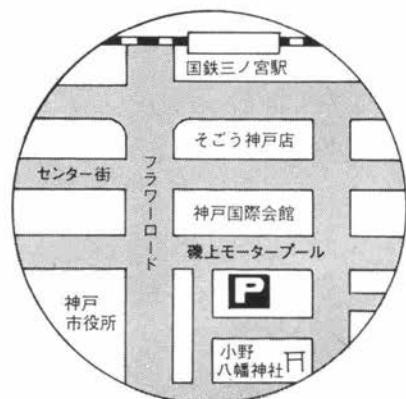
T  
A  
S  
T  
E  
—  
E  
K  
O  
B  
E

ビジネスに!  
ショッピングに!  
ご利用ください



## 磯上モーターパール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)



- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休